

弘前さくらまつり 渋滞緩和へ

りんご公園からバス移動を

車両位置 スマホに反映

弘前大学大学院理工学研究科の丹波澄雄准教授は、弘前さくらまつり期間中の市街地渋滞緩和策として、弘前市りんご公園の駐車場に車を止め、弘南バスで弘前公園に向かう手法を提唱している。利用を促すため18日、対象路線を走る弘南バスの車両の位置をスマートフォンに表示された地図上にリアルタイムで反映するバスロケーションシステムの運用を始めた。

まつり期間中(12日～5月5日)の土日はたくさん観光客が車で訪れ、広範囲で渋滞が発生。丹波准教授の試算では、桜が満開を迎える今週末は、大鱶方面の国道7号から弘前公園周辺まで、通常の2～3倍の時間がかかる。

丹波准教授は東北自動車道の大鱶弘前インターチェンジを出て県道、アップルロードを経由すると、30分

弱でりんご公園に到着することに着目。約450台分の駐車スペースがあり、満車の心配も少ない。同公園から弘前公園まではバスで行くことで、渋滞緩和につながるという。

システムを搭載するバス車両は、りんご公園を通る相馬・西目屋線の午前9時から午後5時までの往復計11便(土日祝日は9便)。定員は50人。地図上のバスのアイコンが位置情報に沿って10秒ごとに移動するほ



バスロケーションシステムを搭載した相馬・西目屋線の路線バス18日午前、市りんご公園



運用を開始したバスロケーションシステムの画面。赤色が土手町循環バスで、紫色が相馬・西目屋線。バスのアイコンが位置情報に沿って10秒ごとに移動する

か、駐車場の様子を1分ごとに画像で更新する。丹波准教授は「りんご公園に少しでも観光客の車を誘導して、市街地の渋滞を緩和したい」と話した。

丹波准教授は18日、市内中心部を走る土手町循環バスにもシステムを搭載し、観光客も乗りやすくとした。同システムのURLは



(<https://loc.konusta-te.com/sakura/>)。QRコードからもアクセスできる。(高橋佑)

※この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。

東奥日報社に無断で転載することを禁止します。

[問合せ先]

弘前大学理工学研究科

E-mail:r_koho@hirosaki-u.ac.jp